

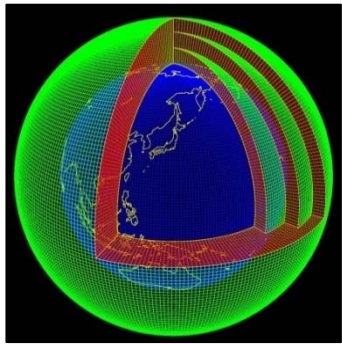
天気予報のつくりかた

天気予報のつくりかた

天気予報はスーパーコンピュータがつくっている!?



東京都清瀬市にある
スーパーコンピュータ



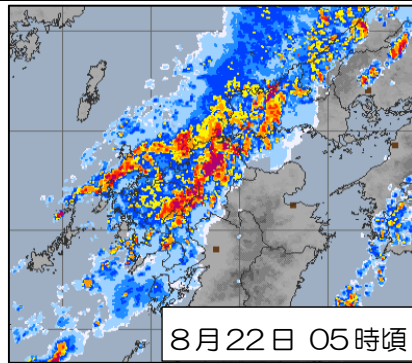
仮想の地球(イメージ)
地球の大気を8000万くらいの箱
にわけて、それぞれの箱の気温、風な
どを計算します。

天気予報は、コンピュータの中に仮想の地球をつくり、
 未来の気温や風などを計算することでつくりだされます。
 最初に、世界中から集まってきた気象観測データ(気温、
 風など)から、地球の現在の姿をつくります。次に、1秒
 間に847兆回(0が12個!)の計算ができるスーパーコン
 ピュータをつかって、1秒後の地球の姿を計算します。こ
 れをくり返し、2秒後、3秒後と計算していき、
 未来の姿を予測することができるようになります。
 科学技術の進歩とともに、この予測は現実に近いとき
 ていますが、予測が必ずかしい現象も多くあります。この
 ため、最後は、人間(予報官)がもっている知識や経験を
 加えて、天気予報を完成させています。

半径数百kmの範囲にある雨や雪を観測できます

気象レーダー

天気予報をつくるためには、今までのような
 雨がふっているかを知ることも重要です。このため
 に、半径数百kmの範囲にある雨や雪を観測できる
 気象レーダーが全国に20基設置されています。
 福岡には背振山に、そのひとつがあります。レーダ
 ーは見晴らしの良い山の上に設置されるのが多く、
 天気の良い日は、福岡市内はもちろん、佐賀県からも
 気象レーダーを見ることが出来ます。



8月22日 05時頃

左図：福岡で大雨がふつ
た時の雨雲の様子
 水色→青→黄色→赤
 の順に雨が強い



福岡空港から見た福岡レーダーの写真

昔は、山の上に職員が交代で泊り込み、レーダーで
 観測していましたが、今は遠くにいても利用できる
 ようになったので無人となっています。

みんなも探してみてくださいね!



注目!

天気予報をつくるために、スーパーコンピュータや、気象レーダーといった
 さまざまな機械が役立っています。



打ち上げの様子

新しい気象衛星「ひまわり」8号

10月7日に鹿児島県の種子島宇宙センターから、新しい気象衛星「ひまわり」8号
 が打ち上げられました。これから、確認試験などが行われ、来年夏頃に現行の7号と
 交代する予定です。これにより、台風や集中豪雨をもたらす雲や、火山灰や黄砂の動
 きを、今までより詳しく観測することができるようになります。

さらに、初めてカラー画像を見ることができるようになります。実は、いま現在
 「ひまわり」が撮影している画像は、モノクロ(白黒)画像なのです...

はれるん



つうしん

2014年 11月5日 水曜日
 平成26年

福岡管区気象台 〒810-0052
 防災調査課 福岡市中央区大濠 1-2-36

電話 092-725-3614 (記事)
 092-725-3600 (天気相談所)
 メール fk-kanku@met.kishou.go.jp
 (ご意見・ご要望はこちらまで)

「お天気 Q&A」

Q: 天気予報ってどのくらい
 当たりますか?

A: 天気予報には点数がつ
 けられていて、気象庁ホ
 ームページで見ることが
 できます。それによると、
 九州北部地方で、明日雨
 がふるかどうかは、100
 点満点中84点(平成4
 年から平成25年までの
 22年間の平均点)でし
 た。
 天気予報も、勉強を積
 み重ねることで、点数が
 あがってきています。



気象情報へのアクセス

災害から身を守ろう

いまどこが雨?

